

配布（敬称略）：勝本創生推進委員会委員長、島本創生推進委員、安枝委員会アドバイザー  
まちづくり推進課（中澤、小杉）、深川まちづくりアドバイザー  
環境部会委員（岩倉、芦田、小野、藤原、久世、高橋、平井、山本）

環境部会 岩倉 紘一

### 第8回（通算第24回）環境部会議事録

- ・日時：2月21日（日） 10時～11時30分
- ・場所：竹の里会館
- ・出席者：環境部会 芦田氏、久世氏、小野氏、島本氏、山本氏、藤原氏、岩倉 7名  
深川アドバイザー 計8名

1) まち美化推進課 溝口課長の回答 「1/17 京都市政出前トークを受けて」  
・・・「まち美化推進住民協定」について

○回答によれば、洛西NT全域で「住民協定」を結ぶのは、コミュニティが大きいので、調整が大変ではないか？・・・とあるが、住区や、小畑川、緑道、公園など個々で清掃活動を行なうのではなく（それは既に各ボランティア団体や地域の自治会などが取組まれている。）洛西NT全体で「ごみゼロを目指そう！」と創生推進委員会が音頭をとり、率先して取組む事にこそ意義がある筈だ。

○何も洛西NT全体の住民で「クリーン活動をしましょう！」と呼びかける意図では、全く無い。「ゴミを出さないようにしましょう！」「犬の糞は、必ず責任を持って処理しましょう！」「綺麗なまちにしましょう！」というごみゼロを目指す活動に、この住民協定で対応出来ないか？を尋ねているのだが？・・・どうも話が噛み合わない。

○協定締結に①月1回門掃きをする ②月1回の一斉清掃をする・・・などの項目があるが、そのような内容は、我々の意図するところではない。むしろ③のゴミの分別回収に取組みます。④我々「洛西NTの住民は、不法投棄を許さない環境づくりに取組みます」のような協定内容にしたい。 → このような「洛西NT用のアレンジした住民協定」を検討依頼した筈だ。

（結論）一度協定内容案を「環境部会」にて作成して、まち美化推進課に相談することに。

2) 3/13（土）のフォーラム 発表内容の確認：

○ 環境部会活動内容

項目として、取り組み優先順位をつけて並べ変えた方が良い。

1) に、 わかりやすく親しみのある通りの愛称づくり ・ ・ ・を持ってくる。

以降順次繰り下げ。

・スライド発表は、文字だけでは分かり難いので「如何に公園などで、不法投棄が多いか」

をスライド写真で具体例を表示し、「ゴミゼロを目指して」美しいまちを次世代に引き継ぐ大切さ（不法投棄を許さない環境づくり）の内容にする。

### 3) 先進事例見学（神戸 真野地区）

印象：

- 非常に取り組みが前向きで、温かみある。親しみがある。 コミュニティ→皆が窓口。 洛西NTは、ともすれば外へ出ず、閉じこもりがち。
- まちの感じが、小学校同級生の延長のような感じ。 → 定年で何かやるとなればリーダーの指導が熱心。 同期の仲間の感じで、行事が行事を生み、組織が組織を生むように巧く活動されている。最も大震災に会われたので絆が深いこともあるだろう！ 「自らがつくるまち」の印象 → まちづくり委員会が全ての事を決定している。建蔽率までも。従って、ボランティアなどは必要が無い！との考え。 「洛西NTが4学区分かれているのに、何故全体の事を考える必要があるのか分からない」という意見もあった。
- 自治会ベースでまちづくりを実践。 自治会単位の連携で足腰強化。 皆が皆熱心なのではないが、1/10位 200人のリーダー層が牽引している。 大きいイベントなら500人ぐらいのリーダー。  
（活動範囲）  
隣保 → ゴミ  
町内 → 防災 など。

最後に

- ★ フォーラム： 環境部会委員の方への出席依頼と、当日、前日の準備運営のお願いをして終了。